

# 速度取締指針

## 南警察署の速度取締りの重点

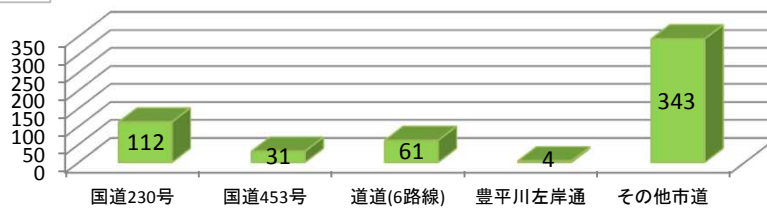
路線	時間帯	地域	規制速度
国道230号	7時～18時	郊外	法定速度(60km/h) 指定50km/h
国道453号・豊平川左岸通	7時～18時	市街地	指定50km/h

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じてランダムな取締りを実施します。

## 南警察署管内の交通事故実態等

発生件数

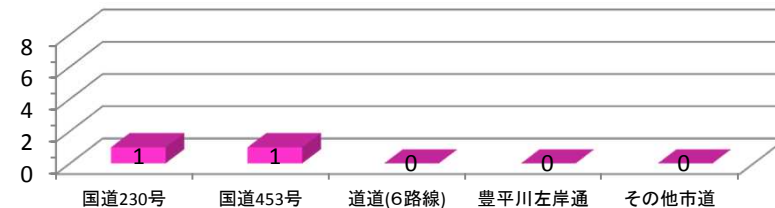
路線別人身事故発生状況(1～3月過去5年)



○ 過去5年の人身交通事故発生状況を主要路線別に比較すると国道230号が多く、次いで国道453号、更に道道6路線が多い。  
また、豊平川左岸通を含め、市道全体での発生が多い。

発生件数

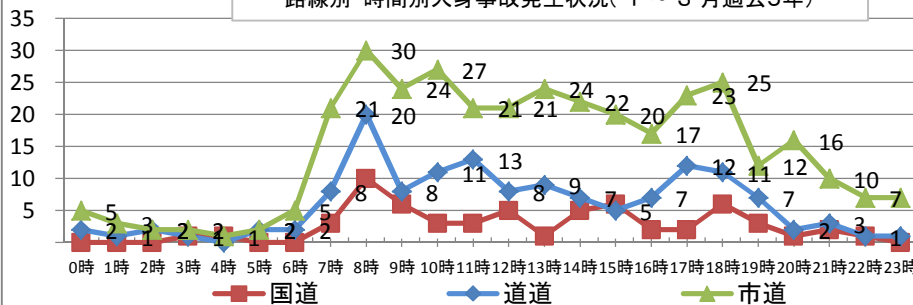
路線別交通事故死者数(1～3月過去5年)



○ 過去5年の事故直前速度61km/h以上の交通事故による死者はなく、速度起因以外の交通死亡事故は国道230号及び国道453号で各1件発生。  
○ 人身事故の発生は市道の市街地で多発しているが、死亡事故の発生はない。

発生件数

路線別・時間別人身事故発生状況(1～3月過去5年)



○ 過去5年の国道230号・国道453号における時間帯別発生状況は、7時から18時に多く発生している。

### 道路交通環境等

- 国道230号及び国道453号は札幌と地方都市を結ぶ主要国道であり、日中の交通量が多く、追突事故や歩行者が犠牲となる交通事故が多く発生し、死亡事故も2件発生しており、観光旅行者等による冬型交通事故も多発している。
- 市道豊平川左岸通は南区と市内中心部を結ぶ主要幹線道路で交通量が多く、過去5年で速度超過による交通死亡事故は発生していないが、同路線は、付近住民から速度取締り要望が寄せられている。
- 昨年の1月～3月迄における、人身交通事故の多発発生時間帯は、国道・道道・市道全ての路線で、午前8時から午後6時で、国道及び市道での事故が81%と大半を占めている。

### ～平成30年1月から3月中の交通事故発生状況～

- 発生件数が30件(-15件)、死者0人(±0件)、負傷者15人(-21人)で、死亡事故はなく、発生件数及び負傷者数は減少した。
- 人身事故の約47%が昼間に、約93%が市街地で、約67%が交差点で発生している。
- 平成27年3月に国道230号上で車同士出会い頭の事故、平成28年2月に国道453号上で車対歩行者の事故が発生。

### 速度違反以外の交通指導取締りの要点

- 通学路付近における交差点違反、バスレーン、スクールゾーン、シートベルト、駐車違反取締りを強化